

経営比較分析表（令和5年度決算）

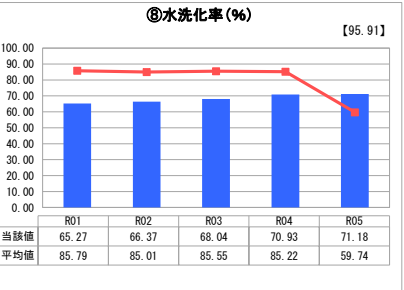
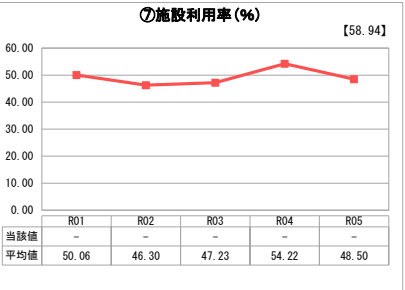
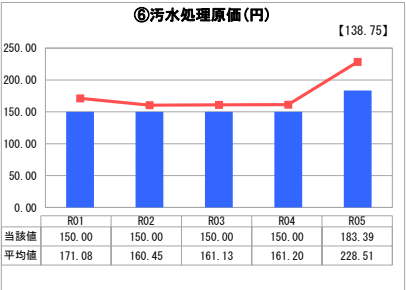
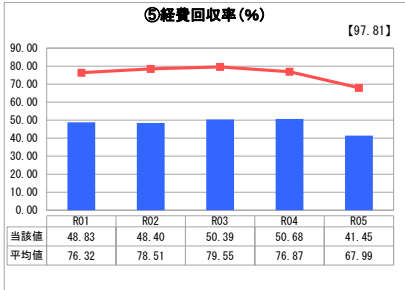
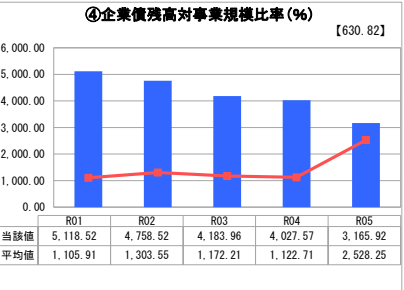
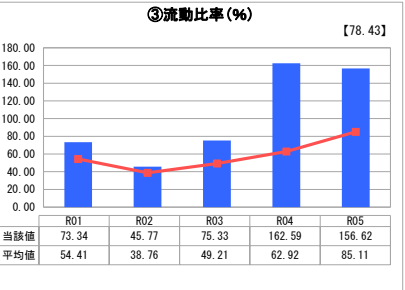
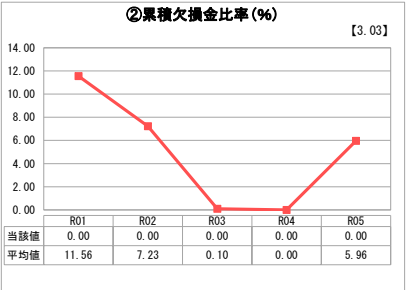
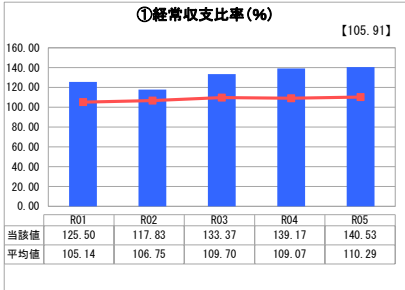
沖縄県 南城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	65.71	26.79	100.00	1,453

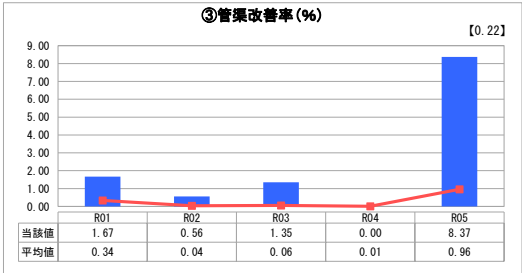
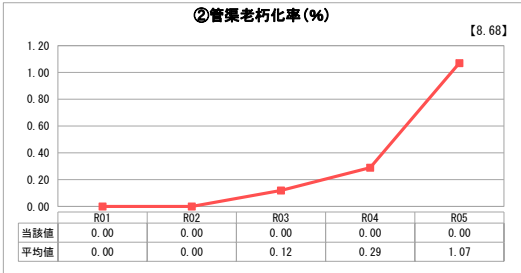
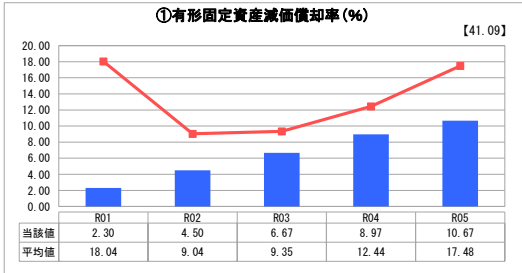
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,458	49.94	930.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,458	2.84	4,386.62

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市は、令和元年度に地方公営企業法の一部を適用し地方公営企業会計へ移行しました。

①経費収支比率は、100%を超えているものの、⑤経費回収率が41.45%と低く、全国及び類似団体平均値からも下回っています。汚水処理に係る費用が下水道使用料等では賄えておらず、一般会計からの繰入金で補填し、事業運営を行っている状況です。

③流動比率は100%を上回り、1年以内に支払うべき債務に対しては支払いできる状況を維持しています。

④企業債残高対事業規模比率は、全国及び類似団体平均値からも上回っており、施設改修整備に伴う公債費負担が高額なのに対して、使用料収入のみで補うことができない高い数値となっています。

⑥汚水処理原価は、全国平均値は上回っていますが、類似団体平均値と比べ未だ低い状況となっています。今後未接続世帯への訪問等を取り組み普及促進に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

現在、ストックマネジメント計画による管路改築工事を行っています。施設や管きょの適切な維持管理による長寿命化を図り、点検や更新等を計画的に進めていきます。

全体総括

本市は、令和3年4月1日に使用料改定を行いました。公共下水道事業は、新規整備投資に係る経費の増加もあり、一般会計からの繰入金に依存している状況です。今後も事業の計画的な整備促進及び水洗化率の向上を図るとともに、使用料改定の取り組みを行い、経営の健全性・効率化を図って参ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。